

[添付資料5] 新潟市民病院 医用画像管理システム等更新業務 提案書及びプレゼンテーション評価項目		配点
提案に関する評価項目	審査の視点	120
(1) システムの概要		
①提案システムのコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・本提案に対する取り組み方針が妥当であるか ・本院の病院機能、新潟県下での位置付け等を理解しているか 	3
②提案システムの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・提案されたシステム範囲、連携内容、パッケージシステム名、開発会社が明記されており、当院の要求範囲を満足しているか ・ハードウェア概念図/サーバ構成/ネットワーク構成が具体的に記載され、提案ハードウェアの概要が記載されているか 	5
(2) 基本方針への対応		
①運用改善の推進に係る具体的な対策・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・操作性の向上や入力支援機能の拡充、運用フローの改善に寄与する機能等、各職員の業務負担の軽減に資する提案が記載されているか ・放射線部門の職員他、臨床医が利便性高く利用可能な機能に係る提案が記載されているか 	10
②現行機能の継承に係る具体的な対策・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・高速なレスポンスの確保など、既存業務継続に資する機能・取組みの実現を図り、業務負担軽減に繋がる提案が記載されているか ・冗長化構成やバックアップシステム等、システム障害や大規模災害、サイバー攻撃等を想定し、有事の際にも無停止でのシステム運用や短時間での復旧が可能な、業務継続に資するしくみが提案されているか 	14
③経営改善の推進に係る具体的な対策・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・読影レポートの記載率80%の維持に向けた、記載率を容易にチェック可能なしくみの様に、画像診断に関連する加算を安定かつ確実に算定可能とするなど、経営改善の推進に寄与する提案がされているか 	10
④医療安全の向上に係る具体的な対策・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床医による読影レポートの見落としを防止するため、確実な通知、報告書の参照・患者説明等の履歴管理に資するしくみなど、医療安全の向上に係る提案がされているか 	14
⑤拡張性の確保に係る具体的な対策・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・システム稼働後に開発された新規ソリューション・機能の採用が容易かつ安価であり、またその効果測定をしながら継続利用の可否を図るなど、柔軟な運用が可能な拡張性のあるしくみが具体的に提案されているか ・下記のAI読影機能の利用可否やその特徴が、利用時に追加で必要となる初期導入費用、保守運用費用(環境整備に必要なものを含む)、その利用条件(最低利用期間等)等と共に、明確に記載されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 1.CTにおける肺病変検出機能 2.CTにおける、骨転移検出のための経時差分機能 3.CT大腸撮影における、病変検出機能 4.MRIにおける動脈瘤検出機能 5.胸部X線撮影における、病変検出機能 	14
(3) プロジェクトの進め方		
①導入スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた期間内での効率的な業務計画となっているか ・当院側の作業項目・期間が明確かつ妥当な内容となっているか 	2
②管理・開発体制 (i)システム会社体制、病院側体制提案 (ii)システム会社担当者の業務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実施体制、支援体制が体制図で具体的に示され、かつシステムの質を担保するための十分な体制を敷くことが期待できるか ・業務の中心となる技術員の人数及び各人の医療情報システムに係る構築作業経験等が明記され、かつその経験を信頼できるか 	2
③各フェーズにおける作業及び役割分担 (i)各フェーズの作業項目・内容、及び成果物 (ii)各フェーズの作業に係る役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・各フェーズにおける作業項目、作業内容、打合せ回数成果物が明確化されており、十分な業務が期待できるか ・作業項目とその役割分担(システム会社側、病院側)が明確であり、その内容も妥当であるか。分担により、病院側の負担軽減の工夫がなされているか 	3

[添付資料5] 新潟市民病院 医用画像管理システム等更新業務 提案書及びプレゼンテーション評価項目		配点
④データ移行 (i) データ移行方法・スケジュール、及び検証方法 (ii) 移行データの範囲・参照方法 (iii) 移行データの活用に係る制限事項	<ul style="list-style-type: none"> データ移行方法が、当院職員による再入力など人手によるものではなく、機械的に実行可能な方法となっているか データの整合性等について十分に検証を進めるための移行検証方法の記載があり、妥当と判断される内容か データ移行に係る想定スケジュールが示されており、本稼働時点で必要な範囲の移行が可能な内容となっているか 本稼働時点で必要な範囲のデータ移行を完了させるための工夫として、データ移行期間の短縮に資する提案や、その際の現行PACS運用に及ぼす影響を最小限とするための方策が記載されており、妥当な内容であるか 	5
	<ul style="list-style-type: none"> データ移行の結果、新システムに於いて現行システムの情報が漏れなく、かつ業務に支障をきたさない形で参照可能なことが明記されているか 移行したデータは、新システムに於いて制限なく修正や流用操作が可能であるか 本稼働時点ですべてのデータ移行が困難である場合に、円滑に業務を遂行するための対応方法が提案され、妥当な内容となっているか 本稼働時点ですべてのデータ移行が困難である場合に、それ以降のデータ移行を極力短期間で実施するための工夫が記載されており、妥当な内容であるか 	7
⑤本稼働支援 (i) 操作研修、リハーサル支援内容 (ii) 稼働後サポート体制、サポート方法、サポート期間・時間	<ul style="list-style-type: none"> リハーサル支援内容が具体的であり、その内容は妥当であるか。 稼働直後の立会い体制、時間、手法が具体的であり、トラブルへの対処等、新システムを早期に安定化させる対策が妥当な内容と認められるか 	3
(4) プロジェクトの留意点		
①既存システムからの更新時の注意点	<ul style="list-style-type: none"> 既存システムからの更新時の注意点が詳細に記載されているか。 既存システム会社以外は、他社システムから自社システムへの移行(システム会社変更)の注意点が記載されているか 	3
②次々回システム更新への貢献 ・自社システム更新の場合の提案 ・他社システム更新の場合の提案	<ul style="list-style-type: none"> 自社システムで更新する場合の超概算費用と、その際の当院の費用面や業務面の負担軽減に資する具体的な対応案が提案されているか 他社システムに更新する場合に、当院の重要資産である診療データが恒久的に引き継ぐことができるよう、メーカーや製品に依存しないデータ管理の仕組みを設ける具体的な対応案が記載されているか 	7
(5) 稼働後対応		
①サポート体制(ハード・ソフト・ユーザサポート) (i) 役割分担 (ii) サポート体制図、時間、範囲、方法	<ul style="list-style-type: none"> 保守に係る当院との業務分担が、当院の要求業務を実施するのに適切な内容となっているか 24時間の保守サービスや一元的な受付窓口、トラブル時の対応イメージなど、具体的な業務内容の記載があるか 	3
②トータルコスト削減のための提案	<ul style="list-style-type: none"> トータルコスト削減に関する提案がされているか 	7
(6) プレゼンテーション、ヒアリング		
①プレゼンテーション、ヒアリング、本調達に対する取り組み姿勢 (i) 説明内容、質疑対応 (ii) 本調達に対する取組み	<ul style="list-style-type: none"> 説明内容が提案書の内容を補完し、専門技術を十分に発揮できると認められるか 取り組み意欲が強く感じられ、質問に対する応答が明快かつ迅速と認められるか 	5
(7) 実績、経営状況		
①医療情報システムの稼働実績 (i) システム稼働実績、システム・機器連携実績 (ii) 企業の経営状況	<ul style="list-style-type: none"> 医用画像管理システム等の開発・構築実績について、具体的に記載され、本業務遂行にあたり十分な稼働実績が認められるか 調達を予定している各システム・機器との連携実績について、具体的に記載されているか。 ヘルスケア市場への取組が評価できるか 	3